

第2回 ESD ワーキンググループ会議（12月27日）新居浜市市民文化センター



会議では、今一度 ESD の教育的概念（ESD とは何か？）というところから考えていきました。その問いへの一つの答えとして、ESD とは、『基本的な認識のもと、自己決定を踏まえて主体的に行動するためのスキル、能力、習慣（姿勢・態度）を身につけた児童・生徒が育ってくる社会化のプロセスである』と考えました。上記の『基本的な認識』とは以下の二つです。この二つの認識について皆さんはどう思われますか？

- ◆ 今の社会の姿や生活の在り方は、過去の人間の活動に依存している。
- ◆ 今の人間の活動は、今の社会を維持したり、変えたりするだけではなく、将来の人々の生活をもっとよいものにしたり、制限したりする。 ⇒過去と今、今と未来の関係性を考えてみませんか？

第4回 ESD フェスティバル（12月27日）新居浜市市民文化センター 中ホール

ふるさと学習奨励賞特選受賞の2組と ESD 奨励賞受賞校4校のすばらしい発表がありました。ここでは、その概要をご紹介します。

ふるさと学習奨励賞特選

ご両親の自治会活動や自分が参加するイベントなど、日頃の生活から疑問に思ったことを研究したそうです。ESD 奨励賞を含めたすべての発表者の中で最年少とは思えないほど堂々とした発表でした。原稿に合わせて発表用のスライドを自らクリックしながら、青木神社の由来や移転の理由、春祭りを始めた理由、自分が考えたことなどを、分かりやすく伝えることができました。

『政枝春まつりと青木神社』
金栄小3年 野村 悠華さん



『学ぶ・遊ぶ・食べる Let's go! 大島』
金子小4年 篠原 咲音さん
6年 篠原 琴音さん



学習のきっかけは、あかがねミュージアムでの大島に関する展示会に訪れたことでした。ドローンで撮影された大島の美しい自然や映画の舞台にもなった時代背景に魅力を感じ、夏休みに渡海船『おおしま7』に乗って大島を訪れました。有名なパン屋さんでスイパンを買い、レンタサイクルに乗って吉祥寺・願行寺、村上邸、大島八幡神社などを巡りました。運輸観光課の職員の方や地域の方に渡海船や伝統行事である『とうどおくり』についてインタビューしたことを分かりやすくまとめ、写真とともに堂々と伝えることができました。大島を介して、ふるさと新居浜のすばらしさや奥の深さを体感したことが伺えるすばらしい発表でした。

ESD奨励賞（金子小・東中・北中・新居浜高専）

【金子小】

金子小学校では、『笑顔』をキーワードとした活動を各学年で行っています。今回は4年生と6年生の活動を紹介しました。

9名の児童が元気な声で分かりやすく丁寧に伝えることができました。4年生は、笑顔いっぱい住みよい町づくりに向け、高齢の方や障がいのある方との交流を通して、相手を思いやる気持ちの大切さを再確認し、ガイドヘルパーさんの利用時間の延長を求める要望書を市役所へ児童自ら提出するという活動につなげました。6年生は、未来の金子の町が笑顔にならない要因を想起し、それらの課題解決に向けて平和学習や人権学習に取り組みました。取組発表の最後に発表児童全員で発した「いつでも どこでも ESD!」の言葉には、明るい未来を切り拓く力強さを感じました。

未来につなげよう！
金子笑顔の町プロジェクト
～かかわる・つながる・ひろがる～



【東中】

東中学校が28年間行ってきた『うぐいす運動』の歴史と成果を、代表生徒9名による劇場型プレゼンテーションで発表しました。参加している小学生にも分かりやすいすばらしい発表でした。うぐいす運動とは、『(う)つくしく、(ぐ)りーん、(い)っぱい、(す)すんで奉仕』の頭文字をとったものです。交通ボランティアや河川敷清掃、福祉施設訪問、花の苗の贈呈、古切手回収やエコキャップ活動の歴史を振り返り、先輩方の取組が現在に繋がり、未来を拓こうとしていることを知ることができました。

東中学校のESD活動
『うぐいす運動』



【北中】

北中学校では、これまで、社会貢献活動を授業中心に行ってきました。そのような中、学校の枠を超えて社会貢献活動に参加する卒業生も現れ、それに伴い、校内でも活動的な生徒や教員が増えてきました。取組発表では、校内だけでなく、校外でもボランティア活動に意欲的に取り組んだ代表生徒へのインタビューを交え、ボランティア参加へのきっかけなどを伝えました。そして、ボランティアへの参加意欲は身近な生徒や教員によってかきたてられるのでは、という仮説を立て、人材（生徒会役員）と仕組み（地域との窓口を生徒会へ）を組み合わせた地域に根差した活動計画を紹介しました。

北中学校のESD活動
生徒主体、学校が一体となった
SDGsの実現に向けて



【新居浜高専】

新居浜高専が行っている小・中学校への出前授業についての取組発表でした。この出前授業は、ESD対応学生主体型出前授業と名づけられ、学生自らが内容を作成し、当日は講師役となって授業を行うというものでした。これは学んだことを地域で生かすとともに、学生にとっても深い学びとなる取組です。

緊張をほぐすアイスブレイクの後、フェアトレード、インドネシアクイズ、エシカル消費についての授業を行いました。より身近な先輩からの授業は、生徒たちに効果的に働いたようです。

新居浜高専におけるESD活動
ESD対応学生主体型出前授業

